

# The Mille Has Times

2025  
NEW YEAR  
VOL.11

2周年記念「フリー・マーケット」  
初のマルシェに人の波



Interview

2月「民謡フェス」に民謡クルセイダース

私立恵比寿中学 小林歌穂さん 星名美怜さん

# 多彩に発信 ミルハスの魅力

グランドオープン2周年「フリー・オープン・デイ」



エントランスロビーを埋め尽くす人でにぎわったミルミルマルシェ

あきた芸術劇場ミルハスは昨年9月23日にグランドオープン2周年を迎え、施設開放イベント「フリー・オープン・デイ」を開催した。大ホールの舞台機構見学会や中ホールの「オープンステージ」など、全館を使って多彩な催しを展開。初企画の「ミルミルマルシェ」が呼び水となり、館内は大勢の人でごった返した。

雑貨や食品などを扱う計58店舗がエントランスロビーなどに开店したミルミルマルシェ。BGMとして流したジングル曲は、一般応募の13人がミルハスでレコーディングした音源を基に、シンガーソングライターの早瀬直久さんが制作した。心が弾む明るい曲調が会場の雰囲気を盛り上げた。

大ホールの舞台機構見学会では、背景幕などをつくる美術パトンや音響反射板、オーケストラピットが動く様子を公開。来場者は、普段は見ることのできない舞台の裏側に興味津々の様子だった。オープンステージで中ホールの舞台上に立った10組は、バンド演奏や朗読、演劇など個性豊かなパフォーマンスを披露した。

エントランスロビーの一角ではピアノ演奏とギターの弾き語りコンサートを開催。このほか、小ホールBではなまはげ



エントランスロビーがコンサート会場に様変わり。  
ピアノ演奏とギターの弾き語りが来場者を楽しませた

太鼓の体験会を実施し、創作室には木のおもちゃなどで遊べるスペース「こどものあそびば」を用意した。

「ミルハス」の名付け親である秋田市の小野順一郎さん(73)も来場。「開館から2年がたち、ミルハスの名前もすっかり県民になじんだ。これからもたくさんの方が気軽に楽しめる施設であってほしい」と笑顔で語った。

フリー・オープン・デイの詳しい記事と写真はミルハスHPで紹介しています





施設開放イベント「フリー・オープン・デイ」に参加した方の声をいただきました!

大ホール



舞台機構見学会ではオーケストラピットの仕組みを公開。床下に格納されている客席を興味津々の様子で眺める来場者たち

一目ぼれの帽子購入

花田広子さん(74)

友人と一緒にマルシェの買い物を楽しんだ。一目見て気に入った帽子を買うことができてうれしい。ミルハスの建物は天井が高くて広く、開放的な印象。またマルシェイベントを企画してほしい。

新たな出会いに感謝

成田沙称加さん(25)

マルシェで手作りアクセサリを販売した。ミルハスのおしゃれな空間が、商品を雰囲気よく見せてくれた。予想以上にぎわいで、新しいお客さまとの出会いがたくさんあって楽しかった。

ホールで歌えて満足

岩本薫さん(56)

ゴスペルグループ「ブライトスター」としてオープンステージに立った。練習の成果を発揮して楽しく歌えた。素晴らしいホールをいろいろな人とシェアできる機会があるのはとてもありがたい。

音源録音楽しかった

根本侑菜さん(9)

マルシェのジングル曲のレコーディングに参加した。音楽が好きで、竿燈まつりのおはやしで使う笛を吹いて録音した。みんなでいろいろな音を鳴らしたり、歌ったりするのが楽しかった。

舞台裏の見学に感動

加藤博幸さん(39)

舞台機構見学会に参加した。オーケストラピットに入って床が動くのを体験した子どもたちは、床下に客席が格納されていることに興味を湧いた様子だった。今度はコンサートを聴きに来てみたい。



小ホールB

なまはげ太鼓の体験会には大勢の子どもたちが参加。ばちの使い方を「なまはげ郷神楽」のメンバーに教わった

創作室

木のおもちゃなどが用意された「こどものあそびば」。親子ともと一緒に遊んでいた



練習室

ミルミルマルシェをテーマにしたジングル曲の音源をレコーディング。子どもたちが元気に歌った

中ホール



10組が多彩なパフォーマンスを繰り広げたオープンステージ。軽快なゴスペル演奏で会場を盛り上げたブライトスターのメンバー

思わず踊りたくなるグルーヴィーなサウンドで観客を魅了する



# 民謡クルセイダズ MINYO CRUSADERS

「あきた民謡フェスvol.2」が2月9日、あきた芸術劇場ミルハス中ホールで開催される。県内の小中高生らが民謡を歌う第1部に続き、第2部では民謡バンド「民謡クルセイダズ」(民クル)を迎える。民謡を世界各地のダンスミュージックと融合させた独自の音楽が魅力で、秋田での演奏は初めて。本県を代表する民謡歌手小野花子さんとの共演も必見だ。

## ノリノリな民謡楽しんで

### 「あきた民謡フェスvol.2」で秋田に初登場

民クルは2011年結成。リーダーでギタリストの田中克海さん(53)が民謡歌手のフレディ塚本さん(58)を誘い、音楽仲間を集めて活動をスタートした。もともと米国音楽にはじまり世界の大衆音楽に熱中していた田中さんは「さまざまな国の音楽には詳しくなったが、日本の古い音楽を知らないと感じた。日本人の自分がラテン音楽に感動するように、民謡だって日本から遠い地域の人にも楽しんでもらえるはずだと思った」と話す。

企画によって多少変動するが、現在は11人編成で活動している。フレディさんの歌う力強い民謡に合わせて、サクソやトランペット、ギターなどの洋楽器が華やかに鳴り響き、ティンバレスやコンガが軽快なリズムを刻む。アフロビートやルンバ、レゲエなどの曲調をベースとしたグルーヴィーなサウンドが持ち味だが、民謡自体のメロディーや節回しは崩していない。

編曲とサクソを担当する大沢広一郎さん(41)は「大編成だからこそいろいろな音楽を作り出せる。民謡の新しい魅力を発見できるような演奏を届けたい」と話す。

ファーストアルバムには「秋田荷方節」を収録している。フレディさんは「秋田荷方節は浪々とした長い節回しがとてもかっこよくて、初めて聴いた時に衝撃を受けた」と語る。秋田民謡のレパートリーはほかにも「秋田大黒舞」「生保内節」「長者の山」など数多くあるとい

う。「秋田音頭やドンパン節をはじめ、秋田の民謡は楽しい曲が多い印象。独特の遊び心を感じる」と話す。

国内では、都内の名門ジャズクラブ「BLUE NOTE TOKYO」での公演やフジロックフェスティバルをはじめとした音楽フェスへの出演など、幅広いステージで活動。近年はヨーロッパと南米でツアーを成功させた。

田中さんは「民謡文化の根強い東北でいつか演奏したいとずっと思っていた。特に秋田は民謡の総本山。老若男女に気兼ねなく楽しんでもらいたい」と話し、初の秋田公演に向け気合十分だ。



独自の音楽で人気を集める民謡クルセイダズ

#### 公演概要

- ◆日時: 2025年2月9日(日)13:30開場/14:00開演
- ◆会場: あきた芸術劇場ミルハス 中ホール
- ◆チケット: SS席3,000円/S席2,000円/A席1,500円/B席1,000円

主催/秋田県、秋田市、秋田魁新報社  
企画制作/あきた芸術劇場ミルハス



【8ページ「千秋小径」も民クル関連】

# Interview

インタビュー



人気女性アイドルグループ私立恵比寿中学が9年にわたり続けてきた「私立恵比寿中学秋田分校」のラスト公演が昨年11月16日、あきた芸術劇場ミルハス大ホールで開催された。企画運営に長年尽力してきた「用務員さん」こと秋田放送社員が急逝したこともあり、今回を一区切りとして「閉校」を決めた。秋田民謡やなまはげ太鼓などとコラボレーションした秋田らしさ満載のステージが会場を熱くした。公演後、秋田分校の生徒会長を務めた小林歌穂さん(24)と星名美怜さん(27)に、これまでの思い出などについて聞いた。

小林さん  
「これからも縁つなぐ」

星名さん「秋田が  
第二の古里」に



秋田分校ラスト公演を終え、秋田への思いを語った小林さんと星名さん(左)

## 私立恵比寿中学 秋田分校ラスト公演を終えて

—ラスト公演を終え、どんな気持ちですか。

**小林** 無事終わってほっとした気持ちとさみしい気持ちが同時に湧いてきました。秋田分校は回数を重ねるごとにどんどん観客が増えて、沖縄など遠いところから来てくれる方も多くいました。たくさんの人に愛され、支えられてきたと感じます。

**星名** 秋田分校は秋の恒例行事のようになっていたので、いったん終わってさみしい気持ちです。秋田分校を通じて、たくさんのエビ中ファミリー(ファンの呼称)が秋田を好きになってくれたと思います。

—通常のライブとは違う秋田ならではのステージが魅力でした。

**小林** 地元の民謡歌手と一緒に歌ったり、楽曲になまはげ太鼓を合わせたり、秋田でないとできないパフォーマンスを届けてきました。いつもと違う新鮮な気持ちでステージに立っていました。

**星名** 何年も同じゲストと共演してきたのも珍しいことでした。今回のラスト公演は、ゲストとのリハーサルが1回だけで終わりました。お互い感覚的に息を合わせられるようになったのは、これまで培ってきた絆や信頼感があったからこそですね。

—秋田のどんなところが好きですか。

**星名** 人が温かくて食べ物おいしいところです。友人に驚かれるくらい、秋田の食べ物には詳しくなりました。特にジュンサイが好きです。秋田は第二の古里。帰ってくるのがうれしい場所です。

**小林** 秋田の人はシャイだけどすごく優しく微笑んでくれて、それでいて情熱的。秋田分校を開催する時には県全体で応援してくれてありがたかったです。秋田分校はいったん終わりますが、引き続き秋田との縁を深めていけたらいいです。



※星名さんは昨年11月25日に所属事務所との契約を終了

## ミルハス初の松竹大歌舞伎 巧みな演技、 観客引き込む

あきた芸術劇場ミルハス初の「松竹大歌舞伎」公演が昨年11月11日、大ホールで開催された。義理人情が心に染みる「双蝶々曲輪日記 引窓」と、夫婦の駆け引きが笑いを誘う「身替座禅」の2演目を上演。中村錦之助さん、中村隼人さん親子の息の合った芝居が観客を楽しませた。

「引窓」では、人をあやめる罪を犯した濡髪長五郎を錦之助さんが演じ、長五郎を捕らえる仕事を命じられた代官・南与兵衛を隼人さんが演じた。濡髪は南与兵衛の母・お幸が里子に出した実の息子。捕らえられる決意をした濡髪を南与兵衛は逃がしてやる。親子や家族の情愛が垣間見える展開に深く引き込まれた。

「身替座禅」は「引窓」の雰囲気とはがらりと変わり、コミカルな演技が際立った。大の恐妻家で浮気性の山蔭右京を演じたのは隼人さん。右京は、錦之助さん演じる妻・玉の井の目を盗み、愛人に会おうとする。なんとか妻をだまそうと



「双蝶々曲輪日記 引窓」で濡髪長五郎を演じた錦之助さんと南与兵衛役の隼人さん(右)

悪知恵を働かせる様子が面白く、客席から笑いがこぼれた。引窓の濡髪とは真逆の役柄を演じた錦之助さんは、女性らしい感情の揺れ動きを巧みに表現し観客を魅了した。



「身替座禅」の一場面。錦之助さん演じる玉の井と山蔭右京役の隼人さん(右)

## 由利高民謡部の 奮闘と絆描く

わらび座「青春するべ!」特別公演

わらび座ミュージカル  
アオハル  
「青春するべ!~由利高校民謡部ストーリー~」の特別公演が昨年9月29日、あきた芸術劇場ミルハス中ホールで行われた。作品のモデルとなった由利高校民謡部とのコラボレーションステージも観客を楽しませた。

亡き母の古里・由利本荘市の高校に転校してきた主人公のさくら。民謡部に所属したものの、歌っている時にうまく笑顔になれないと思い悩む。一方、男子部員のけやきは、通常は女性が担うしなやかな踊りを踊るのが好き。それが「普通」でないとされることに葛藤を抱く。それぞれの苦悩が感情豊かに描かれるシーンが印象的だった。



由利高民謡部員とわらび座の役者たちが一緒にパフォーマンスを披露したコラボステージ

さくらたち民謡部員は互いに支え合い絆を深め、困難を乗り越えていく。最高のパフォーマンスを目指して奮闘する姿が観客の胸を打った。

コラボステージでは、わらび座の役者と由利高生と一緒に「秋田大黒舞」などの秋田民謡を披露。最後は由利高生が客席に繰り出し、観客も一緒になって手踊りを楽しんだ。

松竹大歌舞伎と「青春するべ!」の詳しい記事と写真はミルハスHPで紹介しています



2025年 1月・2月・3月

# 公演・イベント情報

1/5(日)

●小ホールA

サクソフォーン カルテット  
ロータス コンサート  
2025



14:00開演

【お問い合わせ】  
チラシの2次元コードから

1/25(土)

●小ホールAほか

秋田県出身音楽家による  
公開アウトリーチ  
(演奏指導)



11:30開始

【お問い合わせ】  
ミルハスを核としたにぎわい創出実行委員会事務局  
TEL:018-860-1529(県文化振興課)

2/11(火・祝)

●小ホールA

秋田県高等学校  
文化連盟器楽・管弦楽部会  
コンサート「ムジカナード」



14:00開演

【お問い合わせ】  
秋田県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部会(矢島高校内)  
TEL:0184-55-3031(担当:高橋)

1/11(土)

●大ホール

仮面ライダー  
スーパーライブ2025



①10:00開演 ②13:30開演

【お問い合わせ】  
秋田朝日放送事業部 TEL:018-888-1505

1/26(日)

●大ホール

秋田県出身音楽家等による  
コンサートWINTER  
\*CLASSICS~響宴~



14:00開演

【お問い合わせ】  
ミルハスを核としたにぎわい創出実行委員会事務局  
TEL:018-860-1529(県文化振興課)

2/15(土)・16(日)

●中ホール

祭シアター「HANA」



①10:30開演 ②14:30開演

【お問い合わせ】  
インフォメーションデスク(わらび劇場内)  
TEL:0187-49-6315

1/12(日)13(月・祝)

●大ホール

第47回アンサンブル  
コンテスト秋田県大会



10:30開始

【お問い合わせ】  
秋田県吹奏楽連盟(本荘高校内)  
TEL:0184-22-0832(担当:塩谷)

1/26(日)

●中ホール

林部智史コンサート



15:00開演

【お問い合わせ】  
キョードー東北 TEL:022-217-7788

2/24(月・祝)

●大ホール

大曲吹奏楽団  
第68回定期演奏会



14:00開演

【お問い合わせ】  
大曲吹奏楽団 TEL:090-1499-0256(佐藤)

1/18(土)

●大ホール

めざましクラシックス  
in 秋田 Vol.23



15:00開演

【お問い合わせ】  
秋田テレビ営業推進事業部 TEL:018-866-8030

2/9(日)

●中ホール

あきた民謡フェス  
vol.2



14:00開演

【お問い合わせ】  
あきた芸術劇場ミルハス TEL:018-838-5822

3/8(土)

●大ホール

山形交響楽団特別公演  
in ミルハス  
ドラゴンクエストの世界



14:00開演

【お問い合わせ】  
あきた芸術劇場ミルハス TEL:018-838-5822

1/25(土)

●中ホール

クレイジーケン  
バンド火星ツアー  
2024-2025  
Presented by  
TATSUYA BUSSAN



16:30開演

【お問い合わせ】  
ジー・アイ・ビー問い合わせフォーム  
<https://www.gip-web.co.jp/t/info>

2/9(日)

●大ホール

Da-iCE  
a-i contact  
TOUR 2025



①14:00開演 ②17:30開演

【お問い合わせ】  
ジー・アイ・ビー問い合わせフォーム  
<https://www.gip-web.co.jp/t/info>

3/29(土)

●大ホール

吉田正記念オーケストラ  
元気が出る! オーケストラ  
コンサート



14:00開演

【お問い合わせ】  
あきた芸術劇場ミルハス TEL:018-838-5822

※ 掲載しているのは公演・イベントの一部です。情報は2024年12月上旬時点のもので、「チケット完売」の記載がない公演でも完売している場合があります。ご了承ください。公演・イベントの詳細はミルハス公式サイトをご覧ください。

## Mille Has information

## 2月、ミルハスで鉄道ジオラマ見学会

## 多彩な車両模型約100種類

あきた芸術劇場ミルハス鉄道ジオラマ見学会が2月15、16の両日、ミルハス小ホールBで開催される。鉄道沿線の町並みを表現したジオラマ2台を展示し、新幹線や在来線の車両模型を走らせる。秋田鉄道趣味会の協力を得てミルハスが企画した。

町並みを150分の1スケールで模した1周約20分のジオラマと、80分の1スケールの1周約15分のジオラマを用意する。秋田新幹線こまちをはじめとした各地の新幹線のほか、特急いなほ、廃止された寝台特急あけぼのなど約100種類の車両模型を走らせる予定だ。

同会の加藤肇会長は「秋田でなじみのある車両を中心に、廃止された懐かしの車両、貨物列車まで多彩に取りそろえる。大人も子どもも楽しんでほしい」と話している。

開催時間は両日とも午前10時～午後3時。入場無料。問い合わせはミルハス（TEL：018-838-5822）。



鉄道沿線の風景を楽しめる鉄道ジオラマ（秋田鉄道趣味会提供）

## イベント概要

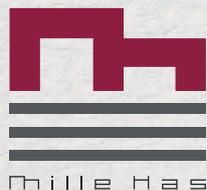
- ◆日時：2025年2月15日（土）、16日（日）10:00開始／15:00終了
- ◆会場：あきた芸術劇場ミルハス 小ホールB
- ◆料金：無料 ◆企画：あきた芸術劇場ミルハス



切なく胸に迫る民謡を聞いたのは望外だった。曲は「民謡クルセイダース」（民クル）の2ndアルバム「日本民謡珍道中／TOUR OF JAPAN」に収録された「貝殻節」（鳥取県）だ▼民クルは、日本民謡と多様なラテン音楽の融合を試みるグルー

プ。2月にあきた芸術劇場ミルハスで開かれる「あきた民謡フェス vol.2」に出演する。本誌今号4ページに詳しい▼民クルが貝殻節に合わせたのはサルサ。労働のつらさと妻子への思いをつづった歌詞を、ポカルのフレディ塚本さんが正調で力強く歌う。人生を受け止める貝殻漕ぎの覚悟を思うと、歌声はどこか優しく感じられる。そこへピアノとベースが哀切をまどわせ、軽やかなパーカッションと朗らかなブラスが陰影を際立たせる。すると、繰り返されるはやし言葉（合いの手）の「ホーエヤエーエヨイヤサーノサーサ」がじんじんと胸に染みてくる。意味の薄れた言葉だからこそ魂の叫びに聞こえるのか▼民クル

の手にかかると「木曾節」（長野県）は南国風に。「金毘羅船々」（香川県）はクールさマシマシ。1stアルバム「ECHOES OF JAPAN」も聴いた。「秋田荷方節」はずしりとファンキー。「といちん節」（富山県）はミラーボールを回したくなるつやつぽさだ。聴きごたえのある曲がざっしり▼民謡はもちろん、ラテンの曲調もどこかで聞いた気がするのに、その組み合わせが予想外の魅力を生んでいる。「ライブならもっと…」と期待が膨らむ。聴けるのはどの曲か。小野花子さんとのコラボはいかに▼巳年が明けました。ミルハスでの秋田県・秋田市主催公演は「あきた民謡フェス」で幕を開けます。本年もよろしくお願いたします。



あきた芸術劇場  
Akita Arts Theatre  
ミルハス

<発行>あきた芸術劇場ミルハス  
〒010-0875 秋田市千秋明徳町2番52号  
TEL.018-838-5822 FAX.018-838-5825  
E-mail/info@akiat.jp https://akiat.jp

